

湘南大磯の楽しい散歩



楽しい散歩の季節；令和7年10月“湘南大磯”を訪ね

江戸時代には、京・大阪の上方と江戸幕府の幹線道であった、往時の松並木や日本の近代国家形成を成し遂げた元老方々の足跡を検証してみましょう！

1, 大磯駅スタート



＊明治20年開設
大磯駅の外観



＊大磯駅エントランスに飾られる広重の「東海道 大磯宿」

2, 旧木下邸



説明板



貿易商
木下建平氏が大正元年（1912）建設
平成24年2月
国登録有形文化財に登録された。
現在は「大磯迎賓館」と命名しレストラン
として営業されている。

3, 延台寺



曾我兄弟の兄十郎祐成の恋人・虎御前が祀られるお寺です。

物語は、富士の裾野での源頼朝の巻き狩りで、曾我兄弟は仇敵の「工藤祐経」を討ち、本願を果たすが、頼朝軍に誅殺される。

恋人の虎御前は尼となって十郎祐成を吊っていく。

4、照ヶ崎海水浴場の碑



明治18年(1885)、松本順により日本で最初の海水浴場が照ヶ崎海岸に開設された。

松本順は佐倉藩佐藤泰然(順天堂大学の創始者)の次男。長崎で西洋医学を学ぶ。徳川將軍「家茂」と「慶喜」の主治医。戊辰戦争のとき幕府軍に従軍するが、後に「山県有朋」の懇請により、陸軍初代軍医総監となる。

海水浴による健康増進をはかるため、大磯に日本で最初の海水浴場を開く

5, 新杵



吉田茂元首相にも轟
厩にされた美味しい
和菓子店

6, 新島襄先生終焉の地



同志社大学の創始者。
門下生に徳富蘇峰・徳
富蘆花がいる。

明治22年(1889)、
大学設立募金運動の
最中に病に倒れ、大磯
茶屋町の旅館・百足屋
で療養した。翌年、1月
23日46才で逝去され
た。

7、井上蒲鉾本店



明治11年(1878)の創業。
現在の当主は6代目で、鎌倉に同名の井上蒲鉾店があるが、娘婿さんが暖簾分けし開店した店で、大磯が総本店ということです。
この店の「はんぺん」は吉田茂元首相の好物であった。

8、「鷗立庵」と「湘南発祥の地」



「鷗立庵」は「西行」の歌

「ころなき 身にもあはれは しられけり 鷗立沢の 秋の夕暮れ」
で有名。寛文4年(1664)、崇雪が西行を偲んで草庵を結び、「鷗立沢」の標石を建てた。その裏面には「著盡湘南清絶地」と刻まれ、湘南発祥の地であることを示している。

元禄8年(1695)大淀三千風が「鷗立庵」を作って入庵し、俳諧道場として今日まで続いている。

9, 旧島崎藤村邸



昭和16年1月に、左義長を見に来て温暖な大磯の地が気に入り、2月より住むことになった。遺稿となる「東方の門」を執筆中、昭和18年8月22日、71才で逝去された。

10, 東海道 松並木



慶長6年(1601)関ヶ原に勝利した徳川家康が、日本橋を起点として東海道をはじめ五街道の整備を始めた。松並木は旅人の休憩にもなるようにと設計されていた。

11, 明治記念大磯邸園



「明治記念大磯公園」は、平成30年(2018)の「明治150年」記念関連施設として、国土交通省が、明治期の立憲政治の立役者であった偉人たちの歴史的遺産である大磯の建造物等の整備を進めているものです。現在一部公開されている「旧古河邸(旧大隈重信邸・陸奥宗光邸)」に加え、「伊藤博文邸跡(旧滄浪閣)」、「西園寺公望邸跡(旧池田成彬邸)」が、2025年全面公開される計画で進んでいます。

12, 陸奥宗光邸跡・旧大隈重信邸跡



「陸奥宗光」は明治27年(1894)に別荘を建てた(後の「聴漁荘」)。明治25年(1892)には、伊藤内閣の外務大臣。日清戦争後、下関条約締結。大磯で外交史「蹇蹇録(けんけんろく)」を書き上げる。明治30年没、享年53才



「大隈重信」は佐賀藩出身。明治30年より、この大磯に居住する。

明治31年内閣総理大臣となる。

当時の建物は、ほぼ保存され、10 畳と16 畳の通しの大広間「富士の間」がある。書斎の「神代の間」は神代杉が使われている。早稲田大学の創始者で、大正11年(1922)没、享年83才

13, 県立大磯城山公園・旧三井別邸地区



三井家惣領家第 10 代当主三井高棟が、明治 20 年代より建設した約 2 万坪の別荘地が、昭和 58 年に県立公園となり一般に解放された。園内にはモミジやスダジイを始め 300 種を超える樹木が茂り、池や滝の流れのある日本庭園と茶室「城山庵」がある。展望台からは湘南の海、富士箱根連山の眺望が楽しめ、また現存する北蔵をはじめ横穴古墳、大磯町立郷土資料館等がある。

14, 旧吉田茂邸



兜門

吉田茂元首相の養父・吉田健三氏が、明治 17 年(1884)に別荘を建てたのが始まりで、戦後、吉田茂が迎賓館的用途で立て替えた近代数寄屋造りで、延べ建坪約 300 坪の 2 階建の建物です。

敷地は約 1 万坪あり、庭内には七賢堂はじめ、心地池や竹林、植え込みなどがある。

戦後の日本の政治を動かした国内外の多くの人たちが「大磯詣で」をした歴史的由緒ある建物であったが、平成 21 年 3 月 22 日に原因不明の出火により焼失した。

その後多くの支援により再建され、平成 29 年 4 月 1 日から一般公開されました。



寝室